

第24回(平成20年度第5回)  
内航海運活性化プロジェクトチーム議事録

日時:平成20年11月6日(木)12:00~14:10

場所:東京平河町・海運ビル 3階 305室

出席者:会長 小比加恒久

委員長 蔵本由紀夫

委員 内山盛雄 飯田裕 宗田銀也 塚本博行 東谷正樹 【順不同敬称略】

- 議題:1.今後の海運暫定措置事業のあり方についての基本的考え方(中間答申)の件  
2.今後の課題への対応の件  
3.その他

事務局による出欠状況の報告並びに資料の確認の後、委員長より昨日(11月5日)開催の総連合会政策小委員会における中間答申の検討状況が報告された。

又、中間答申の中身については前回報告と大差はなく、各種のシミュレーションに基づいて考察が為された結果、暫定措置事業の大凡の終了時期を明示出来た意義は大きい旨付言すると共に、旧規程船と暫定措置事業船との構成比の変動、ここに来ての経済動向等不安定要素があることから納交付金単価等を明示せず、非常に抽象的な表現に留まらざるを得なかったことも付言した上で委員各位の意見を求めた処、概ね当プロジェクトチームで議論してきた内容が集大成されているものであり、特に異論はないとして了承された。

更に委員長は、暫定措置事業の検討案件が一段落したことにより、今後の課題に対してどのように対応していくべきかについて委員各位の意見を求めた処、事務局提示の課題8項目の中からテーマを絞った議論をしていくのか、その場合、その項目に対応する委員会委員にも出席を求めては如何か、何れの項目もお互いに絡み合う問題なので総花的な議論とするのか、ポスト暫定措置事業を検討する中で殆どの項目に関連する議論になるのではないか、等々の意見が述べられた。

委員長は、次回開催までの間に検討テーマを絞った上で予め委員各位に文書による回答を求めたいと発言し、了承された。

又、今年度の活動を総括し、理事会への報告書を作成していくため、来年1月、3月の2回開催を予定したいとして結び、閉会した。

以上